

# (1)-③

# 第2回 避難訓練

## 1 日時

11月12日(木) 1校時終了後の休み時間  
生徒…訓練日時を知らせず。  
職員…訓練時間を知らせず。

## 2 場所

一時避難：校舎内外全ての施設を想定。  
二時避難：校庭へ避難。

## 3 想定

休み時間に地震発生。  
電源喪失そして火災発生。(階段4カ所中、2カ所封鎖)  
行方不明、怪我人有り。

## 4 ねらい

学校における火災や自然災害、その他の非常事態発生時における事故を未然に防止するため、避難および防災対策に万全を期すとともに、職員並びに生徒の意識高揚を図る。

## 5 内容

### (1) 1校時終了後の休み時間に緊急地震速報を受信。

- ① 災害発生(地震)
- ② 一次避難(様々な場所で、自分の安全を確保；  
教員はその場の生徒に安全確保の指示)  
→ 学年主任は各学年フロアへ。担任は自分の教室へ。副担任は職員室へ急行した。

### (2) 二次避難誘導に放送を使用しない。



- ① 災害発生(火災)  
→ 副担任は、消火班及び検索班に分かれて行動(教頭の指示)。
- ② 二次避難行動開始  
→ 行方不明者確認。検索  
→ 行方不明者発見。担架要請、救助。
- ③ 二次避難完了確認



二次避難の様子。生徒たちは、火災発生にともない校庭（本部）に避難をした。本部は、その日の風の状態でハンドマイクの声が届くように、風上に配置することにした。

副担任の検索の様子。副担任は、1階と自分の学年フロアの検索に走った。負傷し、行方不明の生徒（教頭と共に生徒が隠れた。）を探した。



副担任の消火班の様子。火災発生現場へ消火器を持って初期消火へ向かう。初期消火に向かう副担任と、検索に向かう副担任を教頭指示で振り分けた。

怪我人搬送の様子。検索班が見つけた後、担架を要請。その後、担架と肩を貸して怪我人の搬送を行った。  
実際の災害時のシミュレーションをそれぞれの立場で行うこともできた。

